

あなたに

出逢えて：

—第二十一号—

\*\*\*

— 紫苑さん —

今日は、はるみ先生のお誕生日でもあります。  
今日の日には素晴らしいお話、色々吸収できる事を、  
たくさん得て帰りたいと思いますので、どうぞ宜しくお願い致します。  
はるみ会からお花を、ささやかな気持ちです。

私たちの気持ちとしては、今まで色々な経験をなさって来られて、一つの段階に  
来られているんだなというのを感じております。

私達というのは、先生の「底辺」だと思えます。

色んな世界にまた先生が飛び出して行かれるというか、ステージを凄く上げられて  
きている感じがしますので、そちらの方で、何か私たちの気持ちを添えて、ますま  
す活躍される事を願っております。  
おめでとうございます。

では先生、今日も宜しく願います。

\*\*\*



ほんと皆さんのお陰で在るから、申し訳ないですね。

今日は、本当に、本当に有難うございました。

私はいつも、勿体無くして仕方なく思っています。

“私みたいなもの”

ある方が言われたのは、

「私は、お誕生日は母に感謝します。」

「きつと母は、一所懸命の思いをして自分を産んでくれたので、誕生日は、母に感謝する日に決めているんですよ。」という事を聞いて、

(あーそうだなあ。) と思っただけですよね。

また、そういう風に有り難い言葉を聞かせて頂いて、良かったなと思いました。

難しい事はね、遠くて考え込んじゃうんですけど、身近で分かる正しい事は、私が聞いたならば、色々皆さんに伝えていきたいなと思っています。



一月にお話させて頂いた様に、自分の身体も、考えも、心も全て、人の為に遣いたいと百パーセント有るので、今年からではなく、ずっと死ぬまでその気持ちでいきたいなと思います。

昔は自分の苦勞を、喜びに感じられない時があつて、

苦勞で落ち込んでしまった時には、もう早く死んでしまった方がいいな、という経験もしてきました。

そういう時もあったんですけど、今はやはり自分を生かしたいし、役立てて行きたいものですから、定まった寿命まで生きて行きたいなという気持ちですが、去年あたりから段々出来てきました。

今年は再認識して、絶対自分の身体やら心とかそういうものを、皆さん、どんどんどんどん使つて下さい、という気持ちが強くなってきました。

はるみ会に置いてても必ず何らかの形で、プラスにして帰つて欲しいというのがまた強くなりました。

きつと前世においては、皆さんどこか時代は異なるかとは思いますが、ご縁があつた方だなどという事は強く感じます。

皆さんに、強くなつて欲しいというのは、性格ではなくて、

自分自身はこういう者だという”意識の上の強さ”を、もつと持たれたら良いなど思っています。

やはり、これだけご縁があつたので、母としても、妻としても、指導者としても、ご商売やつていらっしゃる方はその上に立つ身としても、より以上に自分の能力を發揮して欲しいなと思います。

今日はとてもハッピーなんです、皆さんも幸せになつて下さい。

それぞれに苦しみがあるけども、その苦しみを

”これは経験させられている事だな”

”この苦しみ乗り越えたら何かが待っている”

そういう風な考えや、力を付けていつて欲しいなと思います。

私も凄く波乱万丈で来たので、色々な経験はしているんですけども、この経験は、色々な方の話を聞かせて頂く上に置いて

”絶対知らなきゃいけないかつた事”

”必ず経験しなきゃいけないかつた事”

という事が、今この年齢になつて分かるんですよ。

それぞれこの場に居られても、めいめいに違いますから、苦しみの中から来てあ  
る方も、最高に満足という方もいらっしゃるので、その時その時の受け方も違ふと  
思いますけども、必ず一つや二つは、お土産にして欲しいなと思います。

今日は皆さんからの話をとても聞きたいなと思って、私は沢山話を聞かせて頂い  
て、お一人お一人の事をまた認識して、今日はすっかりそれを聞きたいなと思っ  
てきました。

それも勉強であり、皆さんが一对一ではなく、何十対一になっちゃうので、また  
違う勉強になるのではないかなと思います。

今日は本当に有難うございました。

— 紫苑さん —



新年明けて二ヶ月目に入りました。

色々な事が目まぐるしく一月の中で過ぎていった事かと思えます。

幸せに思った事や辛い事とかを、ここで話せる限り、自分の心の中をさらけ出し

て頂いて、また明日から新しい一步を踏み出して欲しいと思いますので、今日思いつかれた事でも構いませんし、報告したいと思う事でも構いませんので、精一杯時間のある限りお話を聞かせて頂きたいと思ひます。

— 瑠璃さん —

お誕生日・・・

年を重ねるっていうので、私は母たちを見ていますと、とても良い年の重ね方をしているな、というのを何時も見せて貰いました。

実際八十五歳になる主人の母と、八十三歳になる母はとても仲良しで、「二人でいつまでも元気でいようね。」と言ひ合っておりまし、

毎日、「今日も頑張ろう！」って言って、朝を始める姿を見ていますと、年は関係ないなというのをとても感じさせて頂きます。

私自身も、先生も先程おっしゃってましたように、

「経験した事が、本當にしなくちゃいけないかっただな」という事を、

この二十年の間に沢山経験をさせて頂いて、今があるなというのを、今になると感謝しております。

あの時起こった出来事、周りにいらっしやった沢山の人達というのは、私にとっては、ほんとに与えてくださる、

今でいう恩人ではないかなと、今の私の素直な気持ちです。

だから、「渦中に居るときには、道中だね」と、先生に言われ続けながら、まだ道中に居るんだろうと思えますけれども、

自分の中では、良い経験が出来たなって思う事が多くなりました。

まだまだ、経験しなくちゃいけない事が沢山あると思うんですけども、自分がそれを糧に出来るような器に早くなりたいたいなと思っています。

色々な方の出会いが、私を成長させてくれたなという事は、母を見ても、周囲の方々も、このはるみ会の方々に対しても、とても感謝する気持ちで一杯になります。

だから、はるみ会に来るのは凄く楽しみで、一月が過ぎるのがとても早いですけれども、ここに来て、何時も頂き物をして帰ろうと思っている欲張りな自分ですけど、

これは私にとって活力ですし、また、色々な方に出会った時のポケットの一つにな

るかなと思わせて頂きます。  
本当に有難うございます。

— 美月さん —

仕事の事なんです、女ばかりに二百人位いるので凄い派閥とかあるんですね。そういう所を目にしながら、自分的には逃げたいなあと思うんですね。

見たくないなど・・・

でも色んな方と、会話などしないといけないので、その会話の中で、努力する為に頑張ってる方もいるんですけど、やはりすべてを否定する人もいらっしやあって、そういう方とどういう風に、話したらいいのかなと悩んだりしています。

今年もはるみ会で皆さんの話を聞かせていただいて、自分の中で色んな事を解決できたらしいなと思っています。  
よろしくお願い致します。



私の身近の大切な方に病氣の方がいらっしやって・・・

その家族とかの気持ちとかが自分の父親とかも病氣だったので凄くよくわかるんです。

親とかが病氣になると凄く不安になるけど、その気持ちを誰に伝えたらいいのかえわからなくなるんですよね。

叔母が病氣で、入院しているんですけど、その子供になる後姉妹の「どうしよう。

どうしよう。」という不安な気持ちだが、よくわかるんです。でも、昔の私だったら、「どうしよう。どうしよう。」と一緒に思っていたと、思うんですけど今はちよつと違って冷静に話を聞いてあげられて、私達が同じように動揺したら叔母に伝わるので、私達が「絶対大丈夫信じようね!」という「言葉」が言えるのが不思議だったんです。

いつも先生が「ばわー」と言われるので自分なりに先生の顔とかはるみ会の皆さんの顔とか先生がおっしやる月とか太陽とかを浮かべて一人で空にむかって

「自分の体に入れ!」

と思つて叔母の手を握つて「ばわー」を出してるつもりでさわっているんですけど

ど、そういう気持ちになれたのも、  
はるみ先生との出逢いがあったからだとおもいます。

先生と出逢えなかったらおろおろしていただけだったと思うし自分が健康でそういう事が出来る事も普通にあたりまえと過ぎていたと思うんですけれど、そのあたりまえのことが、

凄く幸せな事だと言う事もちよつとずつちよつとずつ自覚ができる様になあつて一緒にメモメモはしてられない気持ちに自分でなれたのが、自分でも不思議だけど、  
凄い皆さんから

「ばわー」を頂いてるんだなと思うと叔母の事も、

「絶対大丈夫！」と、何か自分に来る事はあるかなと皆さんに感謝して毎日過ごしています。

これからも宜しくお願いします。

— 萌さん —

先生が先程お誕生日は、母に感謝する日と仰ったんですけど、



ちようど二年前位の息子の誕生日に息子が

「自分が誕生日だから自分がお祝いしてもらうんじゃないよ。」

と、私にきいて

「お母さん僕を産んでくれてありがとう」

と、私にきいてくれました。その言葉に感動していたらその息子が今度私の母の所に行き「おばあちゃん、お母さんを産んでくれてありがとう。おばあちゃんがいなかったら僕はいなかったよ。」

と、私にきいてくれた。私の疲れた心を癒してくれて母としてとても嬉しくて感動して胸が一杯になった日のことを先生のお誕生日に、

娘さんの心のこもった手作りのケーキをいただきながらとても幸せな気持ちになり思いました。

— ひわさん —

この一ヶ月間少し落ち込んでいたんですが、感謝の気持ちの一杯つまってるケーキを頂いたらすべて今までの気持ちがあふつとぶような感激でした。

前回はるみ会から今回のはるみ会まで凄く長く感じて、

私は今まで何をしてきたんだろうと、思う位うすっぺらな人間に見えてきて情けないような気持ちになっていました。

周りの人たちを見てもさらにきらきら輝いているように見えて自分はこのままでいいかなと感じてしまい身近の方に相談したら「そんなに自信をなくさなくても大丈夫。もっと自信をもつていい！」といってもらいましたがいまひとつ抜け出せない自分がいたんですけれど、やはり今日はるみ会に参加して

「あーそうだ。自分を信じよう。自分を信じることからはじめよう」と食事して、先生や皆さんのお話をお聞きして思いました。そうしたらばっと目の前が開けてきて、自分を信じて

自分の信じることを人に伝えて行こう。と今ここに来て思いました。もっと自分に自信をもって、少しずつ少しずつ自分が成長してこれから人を助ける事が出来るような自分になっていきたいとおもっているところです宜しくお願いします。



どうも有難うございます。

本当、ケーキ見てもね、娘の心感じて、心から作ってママが皆に助けてもらっているから、みんなに食べさせたいんだなというのがとても感じて、嬉しくって仕方なかったんですよね、私にもしたかったけど皆さんに一口ずつ食べて欲しかったという気持ちをもものすごく感じて。

照れくさいから娘は言えなかったと思うんですけど、それを凄く感じて嬉しくなりました。

ひわさんのお話を聞かせていただいて、ひわさんは本当一所懸命で絶対一日一回は自分を誉めて欲しいなと凄く思ったんですよね。

自分自身を褒めるってことは、自分を「認めてる」ことであり自分に自信をつけさせる。

そしてしようがないねっていうのはね、思ってもいいんだけど、それ以前にあなただ頑張ってるよねって自分が自分を褒めるって言うのはとても大切です。

私も大決心して絶対守りたいのね。



私はここのはるみ会にいる方達とかその家族は絶対私守れるって言う自信があるし遊離みたいにして飛んでいって、抱きかかえられるなどというのは実感して分かるんです。

はるみ会のたびに絶対お守りいたします、どんな事が有っても。

だから究極の苦しみは絶対味あわないで下さい。

私その分取りますし、守ります。

お一人お一人、話聞かせてもらおうでしょう、そのお話に対して付いてるお方がこ  
ういいなさいって言われるんですよね。

ひわさんの時は、「自分自身を褒めなさい」そう伝えなさいって言われるんです  
よ。

心の奥底から伝えたらしっかり覚えちゃうから、今も苦しいけども減ります、要領  
が分かります。

でも、今は経験のため通らせているので逃げちゃいけない、自分がとても苦しく  
なってもなんでこんな…と落ち込んで考えたりするのもこれも経験。

これを繰り返して繰り返してやりながら、前はこんな苦しみをかたしてこんな結論しか  
出せなかったけど、あの時よりも違う考えが出てきた。

経験の苦しみだから本物の苦しみじゃないんですよね。

苦しいけども経験の苦しみだから、奥底の芯からの苦しみじゃないんですよね、経験の苦しみの先には嬉しさとか、あり難さがあります。

だから、通って通りこなして消化したら必ずまっているのでね、心の喜びが。

そして、はるみ会にご縁がある方は特にそれは強いと思うんです、というのは真剣に通るから。

でも、悔やんで通ったらマイナスしか出ない、そうじゃないんだ自分を鍛えられるからそういう直面にぶつかると思うと必ずね。

皆さんが話している時に波動で聞いているでしょう、感覚的に出るんですよ言葉が一つ一つね、美月ちゃんなんかもね感謝感謝って出るのね、苦しいけど感謝よって出るんですよね。

話を聞きながら瞬間瞬間でピピピピって入れてね変えてるんでしょうね、だから、きつと楽にはなっていると思うんですよね。

それだからこそ、この集まりであって、そこが不思議な力だね。

でも、私も私のこういう部分を不思議だなと思いますし、でも、これを生かすために与えてくださったということを意識したからこそ、正々堂々と出来るし強くまた自信になったんですよね。

必ず踏み越えていかなんといけないうです、段階的に。

苦しいという心をずつと残すと死ぬまで残っちゃうので、もう切り替えていってね。

はるみ会は理が出来たのよと、途中から言うようになったでしょう。あの頃からはるみ会の中の理が動くようになったんです。

理というのはですね・・・

例えば、学校行くでしょう、教科書貰って先生に習うじゃないですか、そして、先生が教えてらっしゃる事を真剣に聞いていたら知識になっていくでしょう。結局はるみ会も知識じゃないけどずつと残っていったら知識になっていくでしょう。結局やなくて大勢だから十人なら十人、二十人なら二十人の理が残るんですよ、だから、動くんですよ話すだけじゃなくて、今までの分がばーつと一瞬に、理が動くんですよ前のがばーつと重なってきて、だから皆さん記憶が残ってたりするでしょう、それも一つなんですけど動くんですよ。

私は常に神様からアドバイスを頂いています。



蘭さんからも、いいですね何時も神様が側にいてくださってとおっしゃったのですが、それはめいめいがね自分の心の範囲を広くしちゃったからね聞こえてるんですよ。冷静になって自分の器を用いたならばしょっちゅう言っているんですよ、そこ

キヤッチすると直感かなと思ったり第六感かなと思ったり、不思議な感覚がするんですけれど。

それになれてきちゃうと今度また、あつそうかあの時ぴつと感じたけど実行すればうまくいっただなということ覚えてくるわけですよ、それを覚えてきちゃったら今度それが当たり前になって自信になるんですよ。

だからひわさんもね、ぴつと思つたときにそれにのつて動いてみる、すると後で、あつそうだあの時のふつと思つた通りしたけど正しかったなって、これ訓練していくんですよ。だから、100%私のようにと言うのは無理だと思うけど、必ず近づいてこられると思います。また、私もそうなって欲しいし、そうなる為の応援はしっかりしていききたいし、普通の人間としても大きくなって欲しいけども、そういう能力持つてても、けしてマイナスにはならないのでね、やっぱり一人でも多くの方になつて欲しいと思いますね。

風花さんなんかはぴつと来ますもんね。

風花さんはね、皆さんのお陰とか、はるみ先生のお陰とかってね、風花さん自信が絶えず自分が思返しつていう精神があるから出るんですよ。

でも、自分ばかり可愛いって思っている間はダメね、自分可愛い、私は幸せになりたいの、私はあの服が欲しいの、美味しいもの食べたいねって思っている間はダ

メ、普通の最低限度はいいですよ、お付き合いでお食事しましょうとか、それぐらい、必要だからお洋服買うとかそれぐらいはいいけれど、それ以上の欲がある間は本物の力付かないですね。

でも、ひわさんは絶対褒めなきやダメね自分を、これ言ってるでしょう、すると、中にそれが本当だなんて、じゃ絶対明日から自分を褒めようってなる方がいらつしやるんですよ。だからポイントを本当につかんでそれを自分の物にしてね、そうすると色んな普通の人と話をしている時にも似たような話が出た場合ね重複となつて自分のものになるでしょう。

自分が物に感謝してたりね、そういう心になるって事は自分に「貴方って良いよね」って褒めたくなる事あるじゃないですか、でも計算ばかりしててね、にやっとするとね、汚いなって思ったりするけど…

あの人に手を差し伸べようとかね、この人のこと救ってあげたいという心に自分が安らいでね、自分のそういう心は有り難いって思うことあるじゃないですかそれはどどん褒めちゃうのね。

それと、はるみ会の方達はね、絶対持っていて欲しいですね。

ここはね、復習復習なのね、予習じゃなくて復習。



くり返しくり返し、でも、そうやって力がついていくんですよね。

でも、ひわさんは褒めなきやいけないですよね。

自分自身で自分を褒めなかったら誰も褒めないよ！

大人を褒めるって言うのは難しいからね。

だけでも、自分自身は自分自身で褒めると、やはり自分の大きな自信につながるからね。

だけど、一人自分の暗闇に入って悩むのは、もう、勿体無い。

何のためこうして集まってるか分からなくなってしまうでしょう。

はるみ会は、凄く明るくてハッピーを感じてね。

軟らかい波動ですよね、ぎりぎりいらいらした針金みたいなじゃなくて、軟らかい綿みたいなね感じの波動がずっと流れますね。

手をやったりしてたでしょう、そうしなくても言葉で流れてるからもういいよって言われるんですよ。私はいつもいつも、教えられて、

ひわさんがこんなして波動がかわるでしょう、座った時点からね、この波動なんですよ、これ喜びの波動でしょう、ね、この波動が皆に行くんだから、綺麗な波動は全部まわさないといけない、成るべく皆さんにいいのあげましよう、そして頂きましよう。私は苦しくて仕方ありませんでした、でも、こんな風になりましたっ

ていう話をね。苦しいです辛いんですっていうのはマイナスだから

私ありがたいんです、本当感謝してます、それがながれちゃうんですよね。

ここに居る何時間は絶対そうするでしょう、一週間で消える人もいるけど、でも、一ヶ月間持たせて欲しいと思うのね。

そして、ここにつく前に切替ちゃうといいですね、決回のはるみ会のためね。必ず何らかの形でそれぞれね不思議な力が付いていかれると信じてます、必ず。

そして、とつても応援していきたいからですね。

計算じゃない一十一は二の世界じゃなくって自然体の事ですからね、私のはるみ会で何を言おうとかこれ言おうとか一度もないでしょうただただ出る言葉でその場所にあった言葉を何時も出してるので。

だから、必ずやっぱりなるべく大きいリュックを背負ってお土産を持って帰ってください。

私は今日るるるんでハッピーです、

ケーキ召し上がってくださいね。



\*\*\*

— あとがき —

いろんな苦しみがあると思うけど、

苦しみていうのは、幸せの扉の入り口

苦しかった、苦しかった、で終わらせてはだめ

苦しみを浄化しないと・・・

(はるみ会後の、はるみ先生のお言葉です)

第三十六回春瀨会

会場 魚一

日時 平成十八年二月十三日七時半より

